



みんな元気！ 学校元気！ ふるさと元気！

「元気！」 第12号



令和6年3月21日(木)発行

(本校ホームページQRコードです。子供たちの学校生活の様子などをご覧いただけます。)

ご卒業おめでとうございます！

令和5年度第20回卒業証書授与式 学校長式辞

春爛漫の今日の良き日、ここに、第20回という記念すべき節目の卒業証書授与式を、この新しくなったきれいな体育館で挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

また、四年ぶりに、ご来賓の皆様方のご臨席を賜り、重ねて御礼申し上げます。

六名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今、みなさん一人一人に卒業証書を授与しましたが、その姿に、確かな成長を感じています。

今年度の卒業証書から、広島平和公園に奉納された千羽鶴をリサイクルした台紙に切り替えました。赤・青・黄色など色鮮やかな折り紙が散りばめられているのはそのためです。長崎修学旅行で学んだ、戦争の悲惨さと平和の尊さをいつまでも忘れないでほしいからです。

さて、みなさんは、この一年間、創立20周年の記念すべき節目の年の最上級生として、大活躍してくれました。

自分たちの手で、より良い学校を創っていこうと、3つに再編成して取り組んだ委員会活動では、児童集会や一斉下校、校内放送などを活用して全校に呼びかけ、各委員会が掲げた様々な目標達成のための地道な努力を積み重ねてきました。

その結果の一つとして、全校児童の年間の合計読書冊数は、10,321冊を超え、一人当たり年間215冊を数える快挙でした。

また、体力向上優良校としての表彰も、6年連続の受賞という快挙を成し遂げました。まさに、文武両道です。

運動会では、吉原神楽や田の原の棒踊りといった伝統芸能の継承にも全校児童で取り組むことができました。力強い応援合戦をはじめ、それぞれの競技に全力を出し切ってがんばる時の心地よさを知りました。また、下級生に対しても、きびきびと動くことの大切さを態度で示すことができました。

複式学級における授業では、少人数学習のメリットを最大限に生かし、一人一人が「学びの主体」となり、学び会姿と「みんなで伸びよう」と努力するその心の成長ぶりに感心しました。その学びに向かう姿は、九州地区へき地・小規模校教育研究大会の学校別分科会において、60人を超える九州各県の先生方へ、りん小っ子の素晴らしさとしてアピールすることができました。

そして、りん小ならではの感動をしたのは、「りんどう太鼓」です。今年度から、全校児童による発表に規模を拡大して挑戦し、みんなの心を一つにして、一糸乱れぬパチさばきは見事なものでした。きよらホールを貸し切って開催した「20周年記念りんどう祭」のオープニングで披露し、それに引き続き全校児童創り上げた劇「りん小っ子の過去・現在・未来」を演じた時には、会場いっぱいの方々からの割れんばかりの拍手に包まれました。

それから、年が明けた一月一日には、能登半島地震という未曾有の災害が発生しました。熊本地震の際には、幼心に大変な思いをしたことをみなさんも覚えていることと思います。だからこそ、「今度は、自分たちが恩返しをする番だ。」と早々に

募金活動を展開してくれました。お年玉やお小遣いから、百円玉や千円札を握りしめて募金箱に列をつくるりん小っ子の心の温かさに感動しました。

集まった135,222円の義援金は、同じ小学生のために使われるようにと、能登町立小木小学校にピンポイントで贈らせていただきました。まだ復旧半ばの小木小学校とは手紙の交流くらいしかできていませんが、近い将来リモートによる里海と里山の交流に発展すればうれしいなあと期待しているところです。

このように、例を挙げればきりがありませんが、みなさんは、学校教育目標どおり、学校を「夢」いっぱい、「自信」いっぱいにしてくれた牽引者です。

6年生が残してくれた大活躍の数々は、どれもすばらしいものばかりです。今後は、きっと、在校生が引き継いでくれるものと確信しています。

みなさんには、小学校6年間で学んだことを、自分のものにし、これから先、夢の実現へ向けてさらなる努力を積み重ねていってほしいと願っています。

人と比べる必要はありません。昨日の自分より今日の自分が、今日の自分より明日の自分が、一歩でも半歩でも前進できるよう、三歩進んで二歩下がりがなからでもいいので、やるべきことをこつこつと積み重ねていってほしいと思います。

時にはくじけそうになったり、逃げ出したくなったりすることもあるでしょう。何事も前向きに捉えることが大切です。「プラス思考」とか「ピンチはチャンス」という言葉があります。

「当たり前」の反対語は「ありがとう」です。どんな状況下にあっても、「当たり前」ではなく、「ありがとう」という考え方を持つことにより、プラスに捉えることができ、チャンスが出てきます。

そして、「みんな元気！」「学校元気！」「ふるさと元気！」という学校教育スローガンのもと、りんどうヶ丘小学校で学んだ多くのことを、次のステージへつなぎながら、確かな歩みを進めていってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。誕生から今日を迎えるまでのさまざまな出来事が思い起こされ、感慨もひとしおのことと存じます。

今日は、是非、子供さんに「卒業おめでとう」のあとに、「よくがんばったね」という言葉をかけてやってください。「がんばれ」でなく「がんばったね」がモチベーションを上げることにつながると思います。

皆様には、この6年間、本校の教育に温かいご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。今後とも、りんどうヶ丘小学校の発展のために、お力添えをいただければ幸いに存じます。

最後に、卒業生六名、一人一人の前途が幸多きものであることをお祈り致しまして式辞と致します。

令和6年3月21日

南小国町立りんどうヶ丘小学校

校長 杉原 憲聖



※式では、時間の都合上、全文は読んでおりません。

＜めざす家庭・地域像＞

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！